

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
観光事業論	「観光」とは何かを明らかにし、観光産業を学ぶ	太田 実	2 年次前期
講義の目的	本講義の目的は、旅行業の概要やその商品特性、現代社会における機能や役割を習得することである。本講義で、その基礎となる観光に関わる基礎知識、および、主要産業の概要やその商品特性、現代社会における機能や役割を習得できる。		
到達目標	本講義の目標は、漠然と使用されている「観光」とは何かについて習得すること、ならびに、旅行業を中心とした観光産業の概要やその商品特性、現代社会における機能や役割を習得することである。		
講義内容	観光産業を支えてきたのは、航空、鉄道などの運輸業や、ホテルなどの宿泊業、旅行業などである。本講義では、前半部分で観光に関する基礎的な知見を学習し、後半部で各種観光産業の概要やその商品特性、現代社会における機能や役割を学習する。この授業を通して、観光サービス提供者の役割のみならず、よき旅行者としての行動も合わせて学ぶ。		
講義スケジュール	第1講	ガイダンス：講義の進め方。シラバスを読み、この講義への自身の興味・関心、質問事項等を考えておくこと。	
	第2講	観光とは：「観光」および「旅行」の定義を理解する。観光の構成要素、現代観光の特色を理解する。	
	第3講	海外の観光史：古代・中世・近世の観光の成立過程を理解する。大衆観光の拡大要因を考察する。	
	第4講	日本の観光史：中世までの旅、江戸時代の旅を理解する。日本における近代観光の成立過程を理解する。	
	第5講	観光政策の具体例：ビジットジャパンキャンペーンを事例にインバウンド旅行の促進を考察する。	
	第6講	観光と環境：自然環境保護の系譜、観光と自然環境の保護・保全、観光とごみ問題等について考察する。	
	第7講	観光と教育・福祉：観光教育と教育観光、観光と福祉、旅行産業への社会的要請等について考察する。	
	第8講	前半部分のまとめと授業内確認テストを行う。	
	第9講	交通業：交通業の発展史、及び近年の動向について概説する。	
	第10講	宿泊業：ホテルの発展史、現代ホテルの経営方式等について把握する。	
	第11講	旅行業1：旅行業の成立経緯、旅行業の業務内容、システムオーガナイザーとしての役割等について考察する。	
	第12講	旅行業2：旅行業の職種を学び、旅行代金算出の演習を行う。	
	第13講	ツアーコンダクター：ツアーコンダクターの機能と役割について考察する。	
	第14講	テーマパーク：テーマパークの発展過程、テーマパークの種類等、概要を把握する。	
	第15講	まとめとグループワーク。これからの観光産業の活性化について論じる。	
方法指導	テキストを中心に、適宜プリントを配布して講義を進める。時間内において、随時ミニテスト、ミニレポートを課す。		
授業外学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。また、事後学習として、テキストに記載されているチェックポイントについて自分なりに考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。		
成績評価方法	平常点（授業内テスト・レポート）50%、本試験（筆記試験）50%とする。ただし、出席が2/3以上でない場合は評価の対象にはならない。		
テキスト	太田実編著『新・観光を学ぶ』八千代出版		
書籍参考	前田勇『新現代観光総論』		
事項記	意欲のある学生の受講を希望する。		